

令和4年1月吉日

日本気象学会 2022 年度春季大会 賛助金・広告掲載募集 趣意書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、公益社団法人日本気象学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本気象学会は、2022年度春季大会を2022年5月17日(火)～21日(土)に開催する予定です。今回の大会は、一般研究発表、高校生・高専生(中学生も可)を対象としたジュニアセッションをはじめ、表彰式、受賞記念講演、シンポジウムのいずれもインターネットによるウェブ開催の予定です。特に、線状降水帯に関するシンポジウム(5月19日)、真鍋淑郎博士のノーベル賞受賞記念特別シンポジウム(5月21日)については、ウェブ中継配信により会員のみならず一般の方々に広くご参加をいただくこととしています。

本学会は、1882年(明治15年)に東京気象学会として設立されて以来、140年に及ぶ歴史を有しております。2013年4月からは公益社団法人の認定を受け、気象学と大気科学の発展と進歩を図り、気象災害の防止と関連産業の発展に寄与しております。また、短期予報、季節予報の充実、気象情報の社会への還元などの身近な問題とともに、地球温暖化などの地球規模問題にも貢献しております。現在、気象学や環境科学などの科学者、技術者、教育者、学生などの産学官の個人と団体など3,317会員(2021年12月1日現在)を擁し、春季と秋季の大会開催、研究会や講演会の開催、機関誌と学術専門誌の発行、研究の奨励と表彰などの事業を行っております。

2022年度春季大会の開催にあたっては、大会参加費に加え、会員の奉仕活動などで準備と運営を行い、可能な限り経費節減を行う所存ですが、これらにより大会費用を賄うことは困難です。そこで、はなはだ恐縮ではございますが、別紙「賛助金募集要項」をご覧ください、賛助寄付金または広告掲載を通じての賛助を賜りますようお願い申し上げます。賛助いただくと、2022年度春季大会の期間中、貴社名と貴社ホームページへのリンクを本学会ホームページに掲載するとともに大会予稿集にも掲載致します。また、貴社が人材募集をされている場合は、リンク先と共に人材募集中であることを明記致しますので、貴社で活躍できる人材発掘のための機会として、ご利用頂ければ幸いに存じます。貴社の気象学、大気科学、環境科学への貢献を広く会員に提示する機会として、2022年度春季大会を是非ともご活用いただければ幸甚に存じます。

以上、日本気象学会の活動への引き続きのご理解・ご協力と、春季大会へ賛助のご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人 日本気象学会 事務局
事務局長 勝山 税